

R7年度 七城中学校 学校評価アンケート

※アンケート実施期間：前期(R7.9/12~9/26)、後期(R8.2/16~2/27)

※回答人数：前期 生徒135名・保護者110名・教職員20名

後期 生徒133名・保護者110名・教職員20名

※数値は「そう思う」「おおむねそう思う」と回答した人数の割合(%)

1. 楽しく学校に通っている。

心 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	86.8%	89.1%	2.3%	○来年度も、「なかまづくり」「夢や目標に向かって挑戦」「新しいことを学ぶ」「学校行事や部活動」「おいしい給食」「読書」など、一人ひとりが楽しみを見つけて生活できる学校を、生徒と共につくっていく。小中連携も推進。
保護者	92.3%	89.2%	-3.1%	
教職員	100.0%	97.5%	-2.5%	

2. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。(生徒)

いじめを許さず、命や人権を大切にす教育に努めている。(保護者・教職員)

心 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	94.6%	95.4%	0.8%	○生徒の肯定率が100%になるように、心に響く、行動化につながる人権教育を展開する。「いじめる側にいる人はいじめられないと心から反省しない」という考えについては、それではいじめはなくなることを理解させていく。
保護者	83.1%	82.3%	-0.8%	
教職員	100.0%	97.5%	-2.5%	

3. 他者を認め、誰とでも仲良くできている。

心 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	81.7%	86.9%	5.2%	○人権教育授業研究会や人権集会等を通じて、「自尊尊重」の精神を育むために、人権学習を大切にしてきた。自分勝手な言動などまだ気になる部分はあるが、人権教育の日常化を継続し、実践的行動力を育てていく。
保護者	89.8%	84.6%	-5.2%	
教職員	96.7%	87.5%	-9.2%	

4. 自分には、いいところ、得意なこと、がんばってできるようになったことがある。

心 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	74.4%	86.2%	11.8%	○全学年、全授業を通して、日頃から温かい言葉を返すことを推奨している。「〇〇さんの意見を聞いて、～な所がいいなと思いました」などの返しにより、生徒同士及び生徒と教職員間の信頼関係が強くなっている。
保護者	96.0%	96.9%	0.9%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

5. まわりに迷惑をかけないよう、きまりを守り、正しい行動ができている。(生徒)

社会人の基礎づくりとして、ルールやマナーを守る生徒の育成に努めている。(保護者・教職員)

心 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	78.3%	81.3%	3.1%	○R6年度もR7年度も8割の生徒は、ルールやマナーを真面目に守っている。生徒会活動に力を入れたり、地域の方を招き社会に開かれた教育を行ったり、小学校や家庭と連携したりして、正しい行動ができる生徒を育成していく。
保護者	87.2%	90.5%	3.3%	
教職員	91.1%	100.0%	8.9%	

6. 夢や目標がある。(生徒)

夢や目標をもっている。(保護者) キャリア教育を推進している。(教職員)

学力 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒		78.8%		○保護者の肯定率は、R7年度前期は67.2%で、後期は81.0%であり大きく上昇した。受験に向けて学習に励む姿や新人戦等に向けて部活動に励む姿が多々見られたからであろうと推察する。
保護者		74.1%		
教職員		100.0%		

7. 授業の内容はよくわかる。(生徒)

わかりやすい授業に努めている。(保護者・教職員)

学力 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	64.0%	77.2%	13.2%	○①授業(50分)の中で基礎・基本の定着を図る時間を確保する、②めあてとまとめを板書する、③(生徒の)発言は考えの根拠を明らかにする、④ICTの活用、⑤適用問題を解く、という共通実践事項を来年度も継続する。
保護者	80.2%	78.6%	-1.6%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

8. 授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる。(生徒)

夢や目標に向かって主体的に学び続ける生徒の育成に努めている。(保護者・教職員)

学力 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	64.0%	67.0%	3.0%	○「(課題解決に向け)自分で考え、自分から取り組む」ことは、教育目標の「ブラッシュアップ」と重なり、とても大事にしている力である。「つなぐ言葉」を大事にし、対話的な学びを常に取り入れ、全員参加の授業を実現する。
保護者	86.0%	79.2%	-6.8%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

9. 家で自分で計画を立てて勉強をしている。(生徒)

宿題など家庭学習に進んで取り組んでいる。(保護者・教職員)

学力 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》 2025年度努力事項
生徒	41.1%	48.2%	7.1%	○8. 家庭学習時間の少なさと9. ゲームやスマホの使い過ぎは、深刻な課題だと捉えている。引き続き、五者連携により「60運動」を推進していく。教職員の肯定率の低さは、徹底させられなかったことの反省の表れである。
保護者	62.9%	63.7%	0.8%	
教職員	72.2%	52.5%	-19.7%	

10. ゲームやスマホの使い過ぎに気を付け、家庭での生活リズムは安定している。(生徒・保護者)

学校は、家庭、幼保小高、地域と連携し、健全な心身をもった子供の育成に努めている。(教職員)

健康 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》 2025年度努力事項
生徒	46.1%	52.1%	6.0%	○上記のように、五者連携により、「60運動」やメディアコントロールデーの取組を推進していく。 ○年間通して遅刻ゼロを実現できなかったが、毎朝、玄関に立った生徒や先生方、宮川先生には感謝しかない。
保護者	40.3%	39.5%	-0.8%	
教職員	96.7%	100.0%	3.3%	

11. 相談ごとを相談できる先生や友達がいる。(生徒)

学校は、相談ごとに適切に対応している。(保護者・教職員)

健康 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	62.8%	69.4%	6.6%	○2月に教育相談を実施。学習面や人間関係の悩みなど、担任に相談できる機会を確保した。いじめなどの相談窓口については、七城中ホームページに掲載している。学校に相談しにくい場合は窓口に相談してほしい。
保護者	82.3%	82.3%	0.0%	
教職員	100.0%	100.0%	0.0%	

12. 交通安全、防犯や防災について意識し、安全な生活ができています。

健康 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	83.2%	86.8%	3.6%	○災害を想定した避難訓練等で、ずっと呼びかけてきたのは、「自分の命は自分で守る(自助)」と「共助」である。学校を離れるとヘルメットをとる生徒がごくわずかだがいるとのこと。危険なので絶対やめてほしい。
保護者	91.4%	91.4%	0.0%	
教職員	100.0%	97.5%	-2.5%	

13. 授業や行事、部活動等に積極的に参加し体力づくりができています。

健康 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	70.6%	85.4%	14.8%	○持久走・駅伝大会は雨でできなかったが、意欲的に練習に取り組む姿が光っていた。何をやるにしても体力が必要である。日々の体育の授業や部活動で運動不足を解消し、活気ある七城中を実現する。
保護者	86.0%	87.7%	1.7%	
教職員	91.1%	95.0%	3.9%	

14. 掃除や節電など、美しく、優しい環境づくりに努めている。

健康 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	75.6%	87.3%	11.7%	○時間いっぱい黙々と掃除する人がほとんどだが、だれも見えていないと掃除しない姿も時々見られた。七城中では、だれも見えていなくてもごみを拾う人を育てたい。私たち一人ひとりに、持続可能な社会をつくっていく責任がある。
保護者	93.9%	94.1%	0.2%	
教職員	93.9%	95.0%	1.1%	

15. きちんとあいさつができています。

地域 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	91.4%	94.2%	2.8%	○生徒の肯定率は高い。それはとても良いことである。しかし、保護者と教職員の肯定率は減少している。これは七城中生への期待値が大きいからに他ならない。挨拶はコミュニケーションの基本。挨拶の質をみんなで高めていく。
保護者	87.8%	83.7%	-4.1%	
教師	72.8%	65.0%	-7.8%	

16. 地域をよくするために、何をすべきか考えたり、行動したりしている。

地域 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒	48.4%	59.3%	10.9%	○地域と学校の連携・協働推進会議やフォーラムで、ピオトープ作りや米作りなどの取組について発表した。生徒が達成感を感じられる活動になったことに感謝している。また、福祉施設のボランティア活動への参加も多かった。
保護者	52.3%	49.6%	-2.7%	
教職員	69.4%	67.5%	-1.9%	

17. 学校は、家庭や地域と連携し、学校の様子をホームページなどで分かりやすく伝えている

地域 

	R6年度	R7年度	差	《 対策等 》
生徒				○昨年度から、安心メールの配信やホームページによるお知らせへと変更し、紙の節約(SDGs)及び印刷作業等の負担軽減にもつながっている。保護者の方から、「お便り、見ましたよ」の声を多くいただき心から嬉しく思っている。
保護者	79.4%	87.3%	7.9%	
教職員				